

情報発信力強化事業【山口県】

総事業費	49 千円
交付金額	24 千円

地域の実情と課題

- 働く女性の割合は近年上昇しているものの、結婚、出産を機に就業女性の多くが離職しており、特に本県においては、全国に比べ25歳から34歳までの女性の労働力が低い状況である。（25～29歳全国87.0%,山口83.9% 30～34歳 全国79.6%,山口76.2%）（R2国勢調査）
- 山口県での、ポジティブアクションに取り組む事業所（R2 31.3%→R5 33.7%）は若干伸びているものの、女性管理職の割合（部長相当職R2 12.1%→R5 10.6%、課長相当職R2 16.4%→R2 14.5% R5山口県働き方改革推進実態調査）は減少しており、事業所への取組強化が必要となっている。

事業の特徴

- 県では、第5次男女共同参画基本計画（R3～R7）に基づき、女性活躍の取組を促進することとしている。
- 啓発の強化には、日常的にスマートフォンを用いて情報収集をしている県民へデジタルを活用した手法が有効であることから、全年齢に幅広く普及しているツールである、LINEを活用した広報に取り組む。
- 加えて、既に取組に興味がある方へ、直接的・積極的な情報発信を実施することで、自身の理解促進のみならず、その周囲の方への情報発信にもつながり、県全体への取組推進に資するものである。

事業の効果

- 約200名の友だち登録者に対し、月2回以上、女性活躍や男女共同参画に関連する様々なメッセージを発信しており、多くの県民に対する意識啓発の効果的な広報手段として活用している。
- 今後も、幅広い年齢層の県民に対して積極的に発信することで、女性活躍促進や男女共同参画への機運醸成につながることが期待できる。

目的・目標

- 女性の活躍を促進するため、SNSを活用して、市町、事業者、関係団体等と協力・連携して、女性活躍等に関する積極的な情報発信を実施し、女性活躍推進と取組の裾野の拡大を図る。
- ・LINE友だち登録数（R4.2 184名 →R5 700名）
- ・ポジティブアクションに取り組む事業所（R2 31.3%→R5 40%）

連携団体

山口県男女共同参画推進連携会議

山口県自治会連合会、山口県少年団体活動振興協議会、山口県女性団体連絡協議会、山口県社会福祉協議会、山口県保育協会、山口県病院協会、山口県医師会、山口県歯科医師会、山口県薬剤師会、山口県経営者協会、山口県商工会議所連合会、山口県商工会連合会、山口県中小企業団体中央会、山口県経済同友会、日本労働組合総連合山口県連合会、山口県農業協同組合中央会、山口県森林組合連合会、山口県漁業協同組合、山口県建設業協会、山口県建築士会、山口県私立幼稚園協会、山口県私立中学高等学校協会、山口県専修学校各種学校協会、山口県私立大学協会、山口県PTA連合会、山口県公立高等学校PTA連合会、山口県市長会、山口県町村会

今後の課題

- 友だち登録者数の増加が必要であるため、様々な機会を通じた積極的な広報により、登録を呼び掛ける。

事業の概要

SNSを活用して、市町、事業者、関係団体等と協力・連携して、女性活躍等に関する積極的な情報発信を実施し、女性活躍推進と取組の裾野の拡大を図る。

【内容】

○女性活躍を中心に、男女共同参画全般に関する情報について、LINE公式アカウントを活用して配信する。

- ・女性活躍のほか、男女共同参画やDV等のコンテンツで構成
- ・国や市町、関係団体等の関連情報も発信
- ・県の男女共同参画施策に関する意見を聴取できるコンテンツも設定

※山口県男女共同参画課LINE公式アカウントは、令和3年10月1日開設

登録はこちらから ⇒
LINE ID @414kyege



《LINEイメージ》

